

とくに  
豪華であつても  
繊細で可憐  
上質

西宮の狩野派

# 勝部如春齋

*Shikibu Jakuchūzai*

2017年  
4月1日(土) — 5月7日(日)

西宮市大谷記念美術館  
Otani Memorial Art Museum, Nishinomiya City



18世紀摂津の画人列伝

白鶴(部分) 勝部如春齋蔵  
白鶴(部分) 勝部如春齋蔵  
白鶴(部分) 勝部如春齋蔵  
白鶴(部分) 勝部如春齋蔵  
白鶴(部分) 勝部如春齋蔵



## 勝部如春齋

*Shikibu Jakuchūzai*

勝部如春齋(かつべしよんざい)は一七二二(享保六)年、西宮の裕福な醸造家の家に生まれ、大坂で狩野派を学ぶ一方、兄に酒株を譲られて家業の収入もあつたようですが、前半生の詳しい経歴は分かっていません。

三十代後半から数年の間に、妻や子どもを相次いで失うという不幸に見舞われた如春齋はその後、亡妻の追善のために東福寺にある明兆作の「三十三観音図」を模写するなど、精力的に画業に専念した様子が伺えます。

そして一七六四(明和二年)十二月、時の左大臣九条尚実(「如春齋」の号を賜わり、以降如春齋は作品に「台賜如春齋」の落款を入れるようになり)に就任。現在知られている如春齋の作品の殆どは、如春齋と号するようになった後に、描かれたものです。

残された作品にみる如春齋の画風は、ときに豪華であつても繊細で可憐、上質な雰囲気のみみ出たものです。目を引くような派手な個性はありませんが、狩野派の手法に則った手堅い技量が発揮されており、当時は大変人気が高かつたようです。

このたびの展覧会では、これまで、山本・如春齋として知られてきた郷土の画人の、主要な作品五十点余りを一堂に会し、その画業を美術館で初めて紹介いたします。また弟子といわれている森狼仙をはじめ、大岡春卜、吉村周山など摂津を中心に活躍した同時代の画人の作品も併せて展覧いたします。如春齋の生きた十八世紀の、豊かな文化的雰囲気を味わっていただけることでしょう。



● 勝部如春齋「松風に孔雀図(部分)」弘誓寺(池田市)蔵 ● 勝部如春齋「松風に孔雀図(部分)」弘誓寺(池田市)蔵 ● 勝部如春齋「十八天図(対幅のうち)」茂松寺蔵 ● 勝部如春齋「西王母図」 ● 勝部如春齋「小幡屏風虫干図巻(部分)」大阪市立美術館蔵



### イベント

記念講演会 申込不要 要入館料 定員100名  
4月1日(土) 午後2時より  
木村重志氏(早稲田大学教授 美術史) 講演  
「勝部如春齋と大坂画壇について」

連続講座 いずれも申込不要 要入館料 定員50名  
4月9日(日) 午後2時より  
土井久美子氏(元大阪府立美術館 学芸員)  
「勝部如春齋について」

4月16日(日) 午後2時より  
高野弥和子氏(南都大学歴史民俗資料館 学芸員)  
「18世紀の池田文化と担い手たち—画人を中心として—」

4月23日(日) 午後2時より  
衛藤彩子氏(西宮市立歴史民俗資料館 学芸員)  
「18世紀の西宮—勝部如春齋を生んだ社会—」

4月30日(日) 午後2時より  
杉本欣久氏(近畿大学文化研究所 研究員)  
「天下の台所」における大坂画壇  
—江戸中期の大坂絵画史—

ギャラリートーク 担当学芸員による作品解説  
4月8日(土)、4月22日(土) 午後2時より  
申込不要 要入館料

第162回 オーク・ミュージアムコンサート  
内田美苗ピアノコンサート  
4月29日(土・祝) 午後2時より  
要申込 小学生以上 定員100名(先着順)  
申込方法: 3月30日(木) 午後9時より  
電話: 0798-3310164 で受付

### 西宮市大谷記念美術館

Otani Memorial Art Museum, Nishinomiya City

〒662-0952 兵庫県西宮市中浜町4-38  
TEL 0798-3310164  
http://otanimuseum.jp/home/

割引券 一般 800円→700円  
本券(枚につき1人)1枚限り有効です  
他の優待券・割引券との併用はできません

